

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援事業所 A 型 A R K	事業所番号	4611901333
住 所	鹿児島県霧島市国分姫城南 1 1 - 4 2 - 1 0 1	管理者名	二木 悦郎
電話番号	0 9 9 5 - 5 5 - 8 6 - 2 2	対象年度	令和 6 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所

鹿児島県霧島市国分上野原テクノパーク3番38号

実施日程

令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

実施した生産活動・施設外就労の概要

取引先の物流センターにてドラッグストアモリの商品をピッキングし梱包する

利用者数 等

支援員 1 ～ 2 名、利用者 5 ～ 1 0 名

<活動の様子>



<目的>

地域連携活動のねらい 地域にとってのメリット 対象者にとってのメリット

- ・作業現場の外部の人とのコミュニケーション等を通して、あいさつ、身だしなみ、規則の遵守といった利用者の基本的労働習慣の向上を図る
- ・実際の会社の中で、健常者と同じ条件で仕事を行うことにより実践に近い技能と社会性を利用者が身につける。
- ・連携先企業にとっても、労働力不足・定着困難な中、必要な労働力を確保することが出来る。
- ・4 時間の立ち作業をやり切ることで、労働に必要な基礎体力が向上する。

<成果>

得られた成果

施設内での作業とは違い、体を動かすので利用者の健康維持にも繋がっている。
また 商品配送の現場のため、安全管理の指導の機会が増えたことにより、利用者の日頃の身だしなみについての意識の向上にも繋がった。一定の生産数をこなせるようになったため、随時稼働人数の枠を増やしていくことができた。

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

・障がい者の施設外就労受け入れによる働き手不足の解消ができた。また、人員が安定することによりスキルもあがってきた。毎日前向きに取り掛かってくれるため、職場に活気が出てきた。

今後の連携強化に向けた課題

・新商品が出るたび、商品の取り扱いに注意、指導が必要。支援員との連携が必要不可欠である。

連携先企業名	ピップ物流株式会社	担当者名	センター長 遠藤
--------	-----------	------	----------